

射水市立大門小学校

射水市立大門小学校では、近くの川にすむ生きものを飼育観察しています。学校の水槽には、清流にしか棲息しないといわれるトヨミもいます。こうした魚が育つのは、庄川の伏流水があるからです。子どもたちはそんな故郷を潤す水について学習し、地元の川で湧き水や生物・植物の生態系を観察し、グループごとに研究の成果を発表しました。川や井戸から湧きでる伏流水にふれた夏。子どもたちの心にも豊かで清冽な水の思い出があふれていました。



親父川にはバイカモ、セリが生息していました。

大門小学校
ビオトープアドバイザー
表 隆夫さん

浅く掘っても井戸が出るといわれる浅井地区を流れる親父川は、地下水が湧き水となってそのまま流れるとても美しい川です。そこで育つ生物や植物も、特異な生態系をつくっています。伏流水は、たくさんの生命をつないでくれる故郷の恵みですね。

親父川と合流する鴨川も調査。



川底からは澄んだ伏流水が湧きでていました。



庄川の伏流水を学びましょう。



卒業生が母校でのスライド発表会を。



「水みらい集会」で、グループごとに研究成果を発表!



井戸水は夏でも冷たくておいしい!



川は大門の財産だと思いました。ずっと大切にします。



ペットボトルの水槽で、サケの卵を育てます。

生命をつなぐ大地の贈りもの、伏流水について学ぼう。